

私の経験したリジェネラを併用した脂肪注入の印象



加藤周
Shu Kato, M.D.
湘南美容外科クリニック
Shonan Beauty Clinic

【共催】株式会社メディカルロジック、TMSC 株式会社
Medical Logic Co., Ltd., TMSC Co., Ltd.

■抄録

リジェネラとは真皮組織を磨り潰し、微小な真皮組織マイクログラフトを得る器械である。2014年11月から2016年3月までリジェネラを併用した脂肪注入を若返りおよび豊胸目的に100例経験した。その内、一件の豊胸症例に対しては左右を通常のコンデンスリッチバストとリジェネラ併用のコンデンスリッチバストを別々に分けた。結果、リジェネラ併用の胸の方が大きく変化し、満足度も高かった。リジェネラに用いる真皮組織は臀部下が最も多く、鼠径部、被髪部も使用した。採取後30分以内での使用が良く、1時間以上経過したものはリジェネラによる磨り潰しが十分でない印象だった。被髪部からの採取は毛根も含むため、その除去に時間を要するのでお勧めできない。手術時間の延長にも繋がらず、人手が取られることもないので脂肪注入系の手術においては追加しても良いオプションの一つとなり得る。今後もセルーションによる脂肪幹細胞を用いる方法やPRPなど自己組織を用いた他の方法との比較が必要であろう。

■Abstract

I have used fat injection in combination with RIGENERA for breast and face on 100 patients from Nov. 2014 to Mar. 2016. In one of the breast augmentation, I used a different approach between the right breast and the left. A better result was obtained with the side using RIGENERA. The dermis necessary for RIGENERA should be disaggregated within 30 minutes. It doesn't take so much time to obtain the tissue suspension with fibroblast cells from the dermis, so the application will not interfere with our total operation time. We should also conduct a comparative study of RIGENERA, PRP and fat stem cell from CELLUTION.